今日の力

2019年1月21日～1月27日

翻訳　鈴木慈久

編集　岩田欣三

この冊子の聖句は，新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

1月21日(月)

下に向かって進む

聖書朗読　マルコ 10:35～45

人の子が来たのも，仕えられるためではなく，かえって仕えるためであり，また，多くの人のための，贖いの代価として，自分のいのちを与えるためなのです。

マルコ　10:45

野心は，それ自体は悪い物ではありません。野心はアスリートに厳しい練習をする気を起こさせ，学生に熱心に勉強する気を起こさせ，労働者に難しい仕事をする気を起こさせます。野心は功績や目的達成のきっかけとなることがあります。しかし，そこには野心があるのです。

ヤコブとヨハネは野心家でした――彼らはイエス様の新たな国で発言力のあるリーダーになりたいと望んでいました。神殿で祈るパリサイ人は，自分の道徳的な功績に対しての聖なる承認を求めていました（ルカ18:11～12）。ヤコブは知恵を獲得するという話題になったとき，「ねたみや利己的な思い」について述べました（ヤコブ3:14, 16）。そのような野心は，人を他人を犠牲にして成功し，すべてをかけて「上に向かって進む」ように駆り立てます。――たとえそれが，他の人々の背中をよじ登ることを意味しているとしても。

イエス様は，それとは対照的に，「下に向かって進む」ことについて語り――そして自ら模範を示しました。ここでは野心は個人的な進歩ではなく，人に仕えることに向けられます。ここでは個人的な幸せよりも，他人にとっての利益が優先されます。そしてイエス様はこの「下に向かって進む」ことを，あらゆる言葉と行い，すなわち他者のために自らの安定と地位をただで投げ出すことによって実践して見せられました。――そのような奉仕を受けるに値しないような『他者』に対してさえも。そのため「下に向かって進む」ことの象徴は卒業証書でもメダルでも功績の証明書でもありません。「下に向かって進む」ことの象徴は洗面器とタオルなのです。

讃美歌　第二編　67

祈り　お父様。私たちがあなたの御子の中に，あなたが私たちに求めておられる姿を見ることができるように助けてください。他者の幸せが私たちの望みと目標になりますように。

仕える者であるイエス様の御名によって祈ります。アーメン。

ポール・L・ワトソン

ノースキャロライナ　州ダラム

1月22日(火)

火　に　よ　っ　て　温　ま　る

聖書朗読　　マルコ 14:53〜65
あなたは，生ける神の御子キリストです。　　マタイ　16:16

イエス様が『人々は人の子をだれだと言っていますか。』と尋ねた時，弟子たちは人々がイエス様について，人々が言っているのを聞いたままに答えました。『バプテスマのヨハネだと言う人もあり，エリヤだと言う人もあります。またほかの人たちはエレミヤだとか，また預言者のひとりだとも言っています。』 するとイエス様は個人的に『あなたがたは，わたしをだれだと言いますか。』と訊きました。ペテロはすばやく答えてはっきりと告白しました。『あなたは，生ける神の御子キリストです。』

イエス様が捕えられた夜に話を移しましょう。暗やみの中で，イエス様はサンヘドリンの法廷で試練にあっておられました。ペテロはついていきました・・・距離を取って。彼はイエス様とともに行きたかったのです。ただし，安全に。

イエス様の試練が続く中，ペテロもまた試練に遭いました。彼はその時もまだイエス様が救い主であると信じていたでしょうか？　試された時，彼の信仰はくじけたのでしょうか？　法廷の庭でペテロは火にあたって温まっていました。彼はイエス様から居心地の良い距離を取っていたのです。

火にあたって温まったことはありますか？　イエス様が求められる完全なゆだねに対して，安全な距離を保っていたことはありますか？

ディートリヒ・ボンヘッファーはこう言いました。「イエス様が人を呼ばれるとき，イエス様はその人に対して『来て，火のそばで温まる』ことではなく，『来て，命を捧げる』ことを命じられるのである」と。

讃美歌　　332
祈　り　　お父様。私が火のそばで快適に温まるのではなく，主のために火にかけられるように助けてください。
イエス様の御名により。アーメン。

ラリー・ブラナム
アーカンソー州　スプリングデール

1月23日（水）

私たちが神様を失望させる時

聖書朗読　　マルコ　14:66〜72
彼(バルナバ)は・・・みなが心を堅く保って，常に主にとどまっているようにと励ました。　　使徒　11:22〜23

私たちはみなペテロがいたのと同じところにいたことがあります。おそらく私たちの罪は完全に同じものではありませんが，しかし私たちはキリストに対して不忠実である手段を見つけるまでに，それほど長く見たり，遠くまで見渡したりする必要はありません。そして私たちが成長するにつれて，罪はイエス様を傷つけることによって私たちを傷つけます。罪はジム・マクギガンが言うような神学的な抽象概念ではなく，私たちの主である救い主との関係性の中での不信心です。どうしたらよいでしょうか？

私たちはペテロと同じことをしましょう。――神様の助けによって，私たちは立ち上がって進み続けることができます。私たちはつまずくでしょうが，しかし倒れたままではいません！　人々はこの真実を様々な形で言い表しています。

・あなたは倒された時に負けるのではない。あなたが諦める時，あなたは倒されるのだ。
・もし初めからやり直すことに疲れたのなら，諦めることをやめなさい。
・もしやめたいと感じたなら，なんのために始めたのかを考えなさい。
・やめないで。あなたはすでに苦しみの中にいる。あなたはすでに傷ついた。それに対する報酬を得なさい。
・もしあなたがゴリラと格闘しているなら，自分が疲れたときにやめてはいけません。――ゴリラが疲れたときにやめなさい。

主にあって進み続けましょう！　やめないで！

讃美歌　　493
祈　り　　主よ。私たちは自分たちが罪を犯してあなたを失望させてしまっていますが，私たちが前に進もうとする時，そのことを背負っていかなければならないと知っていることを告白します。私たちがあなたを見て，自分自身の罪によって倒されてしまわないように助けてください。
私たちの救い主の御名によって祈ります。アーメン。

ブルース・グリーン
アラバマ州　オペリカ

1月24日（木）

私たちの最も聖なる地

聖書朗読　　マルコ　15:16〜26

私はキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく，キリストが私のうちに生きておられるのです。　　ガラテヤ　2:20

マルコ15章は私たちの最も聖なる地について述べています！　他の聖書箇所，特に詩篇22編やイザヤ53章から，この地に実現の影を投げかけています。しかし，不吉な昼の暗やみの中に見られるさらに暗い影が地に横たわっており，そしてそれは父なる神様のみこころそのものから来るものであり，創造の業の前に創り出されたものでした。私たちの最も聖なる地は，父，御子，御霊なる神様による救済という目的にとっての，畏敬の念に満たされたクライマックスなのです。それは神様による偉大な愛の贈り物であり，私たちの福音の核なのです。

イエス様に対する請求が十字架に釘付けにされたように，私たちへの請求もまたそこに釘付けにされました（コロサイ2:14）。アフリカ出身のシモンが十字架を運んだように，全世界の弟子たちは自らの十字架を負うように召命されています。私たちは最も聖なる地と結びつくとすぐにキリストとともに苦しめられます。――にもかかわらず，私たちは今や内なるキリストとともに生きているのです（ガラテヤ2:20）！

私たちの最も聖なる地はクライマックスですが最高点ではありません。マルコ16章によれば，その最高点はまだ先にあるというのです！　今から，私たちはマルコ15章を深い感謝とともに，くびきを掛けられて，私たちの苦しまれそして立ち上がられた主のために実践していきましょう。隣にいてくださるイエス様とともに，私たちはそれぞれ自分の十字架を，釘で貫かれた足の元にそれを横たえる時まで耐え忍んでいきましょう。

讃美歌　　140

祈　り　　アバ，お父様。「キリストとその受難」の聖なる地の上に，私たちは畏れを抱きつつ立ちます。あなたの愛に覆い尽くされて，私たちそれぞれが感謝をもって自らの十字架を持ち上げることができますように。どうか私たちが，その十字架をあなたが導かれるどこにでも，私たちの永遠の命があなたの御手の中で確実なものとされていることを知りつつ運んでいくことができるように，勇気を授けてください。

苦しまれそして立ち上がられた主・イエス様の御名により。アーメン。

ティモシー・W・ケリー
コロラド州　リトルトン

1月25日（金）

わたしはいつもあなたを愛している

聖書朗読　　ルカ　7:36〜50

心を尽くし，思いを尽くし，知性を尽くし，力を尽くして，あなたの神である主を愛せよ。　　マルコ　12:30

彼女は私の救助犬でした。彼女は私たちの所に来て一緒に住むようになるまで，生活の多くの時間を籠の中で，ほとんど愛情も注目も与えられずに過ごしていました。今は私たちが座るといつでも，彼女は私たちのうちの誰かの膝の上に乗ろうとします。彼女は私たちの行く所にはどこにでもついて来て，私たちを視界から外そうとしません。彼女は忠実で，顔を舐めてきて，尻尾を振って，私たちのそばにすり寄ってくる，幸せな可愛い犬です。

それは，私たちが彼女を救出したからです。私たちが彼女を助けたからです。私たちが彼女を愛しているからです。

彼女は私に・・・私自身を思い出させます。時折，私はイエス様のいない人生について考えます。イエス様がいなければ私は罪の籠の中で，愛されず，求められずに生きていたであろうことを，私は知っています。そして真実を言えば・・・それは私が本当は受けるべきものでした。どうして聖なる神様が私のような人間と一緒に永遠に生きようと思うでしょうか？

それはただ，神様が私を愛しているからなのです。私は神様がどれほど私のことを赦してきたか，その本当のところを知っています。それが，私がいつも神様を愛する理由です。それが，持っている全てのもので神様を愛せよという命令が，私の全ての行動の基盤となっている理由です。

これほどのことをしてくださった方を，どうして私は愛さずにいられましょうか？　私はこのことを絶対に忘れたくありません。

あなたにも。

讃美歌　　第二編　　73

祈　り　　お父様。あなたが私たちを赦してくださっているから，私たちはあなたのことをとても愛しています。あなたに感謝し，私たちをあなたと永遠に生きるようにしてくださる，あなたの愛の贈り物のことをいつも覚えています。

私たちを愛してくださる，あなたの御子の御名により。アーメン。

スティーブ・リッジェル
テキサス州　アビリン

1月26日（土）

そのたとえ話のポイント

聖書朗読　　ルカ　12:13〜21

あなたの宝のあるところに，あなたの心もあるからです。　　マタイ　6：21

私の母はよく，「私が死んだ時に，私の物のことで一つでも論争が起こるようなら，私は墓から出てきて呪ってやる」と言っていたものです。母はあまりにも多くの家族が，家族の一人が亡くなった時に残された物的な遺産についての論争で分裂してしまうのだということを言いたかったのです。

今回の聖書朗読の箇所は一般的には「愚かな金持ち」のたとえ話として知られています。イエス様がこのたとえ話を，群衆の中の一人がイエス様に遺産の論争を調停してくれるようにお願いしたことへの応答として話されたことに気がついたでしょうか？　イエス様はあえてこのたとえ話をすることを望んだのです。イエス様は『どんな貪欲にも注意して，よく警戒しなさい。なぜなら，いくら豊かな人でも，その人のいのちは財産にあるのではないからです。』（ルカ 12:15）と言われました。

今日のほとんどのアメリカ人に，私たちの価値は銀行口座や，住んでいる家や，運転する車や，私たちの「おもちゃ」ではないことを納得させられるか試してみましょう。このたとえ話はイエス様の時代と同じように，今の時代にも当てはまります。私たちのいのちはこの世ではなく――天に蓄えられた宝のことなのです。

讃美歌　　488

祈　り　　お父様。私がこの世的な持ち物に囚われすぎる時，私を赦してください。あなたのように寛大でいられるよう助けてください。

イエス様の御名により。アーメン。

ローズマリー マクナイト
テネシー州　ヘンダーソン

1 月 27 日(日)

あまりにも多い所有物

聖書朗読　　ルカ 12:13〜21

金持ちが神の国にはいるよりは，らくだが針の穴を通る方がもっとやさしい。
ルカ　18:25

私は近所でガレージの中に車を止めている人があまり多くないことに気がつきました。ガレージのドアが開いた時，その理由は簡単に見て分かりました。彼らはあまりに多くの物を持っていて家の中にそれをしまうことができず，ガレージがいっぱいになっていたのです。持ち物があまりにも多いので，収納のために倉庫のスペースを借りている人もいる，という話も読んだことがあります。家にある全ての持ち物から逃避する場所を作るためだけに，倉庫を一つ借りたという人の話さえも読んだことがあります。

持ち物はいつも問題になるので，イエス様が持ち物とそれらをどのように使うかについて話をされたことも，驚くことではありません。基本的に，イエス様は持ち物を地上ではなく，天に蓄えるようにと言いました。私たちが持っているものはどれもただの一時的なものですが，天に宝を持てば，それは永遠に残ります。

あなたにとって一番重要なものは何か考えてみましょう。そして，自分の宝がどこにあるか，自分に問いかけてみましょう。

讃美歌　　536

祈　り　　親愛なるお父様。私たちの持ち物がすべてあなたの物であることを理解できるよう，私たちを助けてください。私たちが，あなたがくださる祝福を正しく使えるように，また自らの宝をこの地上にではなく，天に置くことができるように助けてください。

イエス様の御名により。アーメン。

フィリップ・エイクマン
サウスキャロライナ州　イルモ